



Vol. 14, No. 12

Acta Urologica Japonica

December, 1968

泌尿器科紀要

第 14 卷 第 12 号

1968年12月



随想 内分泌性高血圧症.....三宅 儀...849

泌尿器の外傷について.....金沢 稔・三軒 久義・廣井 康秀・稲垣 侑・
中村 順・宮本 達也・線崎 敦哉・大谷 雄一・高松 正人...851

Buerger's Disease に起因する腎血管性高血圧症の1例
.....平川 十春・福重 満・白石 恒雄・藤本 洋治...867

両側性睾丸腫瘍の1例.....佐川 史郎・高羽 津・園田 孝夫...872

山口大学泌尿器科学教室における1967(昭和42)年度の臨床統計.....桐山 奮夫・ほか...879

前立腺癌に対する Dithizone の局所注入療法について
.....石部 知行・福重 満・田中 広見・溝口 勝・藤本 洋治...886

編集後記・購読要項・投稿内規.....896

第14巻総目次・物件索引・人名索引.....i~xx

Editorial: Endocrine Hypertension.....T. Miyake...849

Urinary Tract Injury.....M. Kanazawa, H. Sangen,
T. Abe, Y. Hiroi, S. Inagaki, J. Nakamura, T. Miyamoto,
A. Senzaki, Y. Ohtani, and M. Takamatsu...851

A Case of Renal Hypertension due to Buerger's Disease.
.....T. Hirakawa, M. Fukushige, T. Shiraiishi and Y. Fujimoto...867

A Case of Bilateral Testicular Tumors.....S. Sagawa, M. Takaha and T. Sonoda...872

Clinical Statistics on Patients, Operations and Main Urological Examinations
in the Department of Urology, Yamaguchi University, 1967.....T. Kiriya et al...879

Treatment of Prostatic Carcinoma with Local Injection of Dithizone.
.....T. Ishibe, M. Fukushige, H. Tanaka, M. Mizoguchi and Y. Fujimoto...886

Index to Volume 14i~xx



京都大学医学部泌尿器科学教室
Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto, Japan

Editor: Prof. Tokuji KATO

編集後記

いよいよ師走も残り少なくなり多難の本年を送ることとなった。

さて、去る12月14日には第50回関西地方会を当地で開催、一般演題に加えシンポジウムとして「泌尿器科の過去・現在・未来」と「欧米の現況から日本の泌尿器科学を考える」の二つを先輩・新進に語っていただいたところたいへん得るところがあった。

ゆく年を顧みつつ、くる年の変貌に期待をもって会員諸氏がよき正月を迎えられることを祈願する。

本月の随想は三宅儀博士の内分泌性高血圧症に関するものを掲げた。御一読を乞う。

購読要項

1. 発行は毎月（年12回）とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料1,800円（送料共）を前納していただきます。
分売は1冊150円（送料別）。払込みは振替口座番号 京都 4772番 泌尿器科紀要編集部、あるいは第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会は氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、振替または銀行払の別を御記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込み下さい。
4. 新規に個人で入会の方には最初の1年購読料1,000円の特典を設けます。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にして下さい。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいて下さい。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。御希望の場合は当編集部にて翻訳しますので、抄録用の和文原稿を別に作成して下さい。翻訳の実費は申し受けません。
4. 英文原稿の場合はタイプライターを使用して2行の間隔をあげ、和文表題と和文抄録をつけて下さい。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真等はすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等として下さい。
7. 文献の書式は次のようにして下さい。
 - A 雑誌の場合 著者名：誌名、巻数：頁数、西暦年次。（論文題名は自由です）
例 1) 中野：泌尿紀要、1：110、1955。
2) Lazarus, J. A. : J. Urol., 45: 527, 1941。
文献名は正式略称を用いて下さい。例：日泌尿会誌、臨床皮泌、皮と泌、泌尿紀要、臨泌；J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等
 - B 単行本の場合 著者氏名：書名。版数，Vol. 数，p. 数，発行所，出版地，年次。
例 1) 加藤篤二：日本泌尿器科全書。Vol. 5, p. 175, 金原出版&南江堂，東京，1960。
2) Dean, A. L. & Dean, A. L., Jr. : Urology edit. by Campbell, M. F. 2nd edit., p. 1229, W. B. Saunders Co., Philadelphia, 1963。
8. 掲載料の著者負担は4頁まで毎頁600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申し受けません。別冊20部は無料、それ以上は実費をいただきます。あらかじめ希望部数を申し込んで下さい。特別掲載も考慮します。
9. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみが行ないます。
10. 原稿は最終的に返却致しません。
11. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付は致しません。
12. 原稿送り先は、606 京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第14巻 第12号 昭和43年12月25日 印刷 昭和43年12月31日 発行
定価150円（送料別）

編集発行人 加藤 篤二 顧問 稲田 務 発行所 泌尿器科紀要編集部
606 京都市左京区聖護院川原町53 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話771-8111 学内5806
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入